

輯編準標準課正修頒部照遵

用適學中級高

理地國本山鍾

冊 中

編 叻 其 張

4
2
8

行發局書山鍾京南

母校園

惠存

王長齡

敬贈

汪義方

(八) 游市

(中) 非平法增土游市 (非平) (一八二)

天增 (一八二)

地頭增 (一八二) 游市 (一八二)

(十) 交遊

水頭交遊 (一八二) 游市 (一八二) 游市 (一八二)

(六) 別主

非平 (一八二) 游市 (一八二)

一 (一八二) 游市 (一八二)

非平 (一八二) 游市 (一八二)

本國地理 中冊 目次

第十一章

雲貴高原

頁一三

(一) 區域 『地無三里平』(一)

(二) 地形 貴州之峽谷(二) 雲南之峽谷(二)

(三) 水系 烏江流域(三) 清江流域(四) 西江水系(五)

滇池等湖(六) 洱海(七)

(四) 氣候 四季如春(七)

(五) 富源 農林(八) 貴州煤礦與水力(九) 貴州泡木沖石油礦(一〇) 貴州

錫鐵礦(一〇) 貴州高山場汞礦(一一) 雲南箇舊錫礦(一二)

雲南東川銅礦(一三) 鴉片與食鹽(一三)

(六) 民生 貴州之墾殖(一五) 雲貴之移民(一六) 苗族與彝族(一七)

(七) 交通 滇越鐵道(一九) 貴州鐵道之亟需(二〇)

(八) 都市 (甲) 貴州省 貴陽 (二二) 鎮遠 (三二) 遵義 (三三) 黑河與

(九) 貴州省 貴陽 (二二) 鎮遠 (三二) 遵義 (三三)

(乙) 雲南省 昆明 (二三) 曲靖與昭通 (二三) 蒙自 (二三)

河口 (二四)

(九) 國防 邊境關係 (二四)

本章習題六則 (二四) 附註三十二則 (二五)

第十二章 西南三大水谷區 二八—六七

(一) 區域 偉大之南境各 (二八) 論滇黔之境區 (二八)

(二) 地形 橫斷山脈 (二九) 大雪山脈 (三〇) 雲南山脈與怒山山脈 (三一)

高黎貢山脈 (三一) 哀牢山脈 (三二) 白河 (三三) 楊柳平原 (三三)

三大河流之梗別 (三三) 金沙江 (三四) 騰越江 (三四) 瀾滄江

(三五) 怒江 (三五) 伊洛瓦底江 (三六) 洱海 (三六) 西康諸海

子(三)

(四) 氣候

大理氣候(三七) 馬邊氣候(三八)

康定氣候(三九)

候(三九)

寧思沿邊氣候(四〇)

(五) 富源

農產(四〇)

畜產(四一)

林產(四二)

鑛產(四三)

(四) 交通

(六) 民生

漢人(四五)

西番(四六)

羅羅(四七)

滇西人種(四九)

(七) 交通

滇西交通(五一)

西康交通(五三)

(八) 都市

(甲) 雲南省

大理(五四)

思茅(五五)

騰衝(五五)

(乙)

西康省

康定(五六)

甘孜(五七)

巴安(五七)

昌都

(五七)

第二章

(丙)

青海省

玉樹(五八)

(九) 國防

滇緬北段邊界問題(五九)

江心坡之戰形勢(六〇)

江心坡之居民

(六二)

康藏糾紛(六三)

第十三章 四川盆地

六八—九八

(一) 區域 四川盆地之形狀(六八) 赤盆地之富庶(六九)

(二) 地形 山河大勢(六九) 邱陵地(七〇) 四川內部之背斜構造(七一)

(三) 城市 成都平原與中壩平原(七一) 峨眉山(七二)

(四) 水系 川江(七三) 三峽之形勢(七四) 峽與灘之成因(七五) 岷江與大渡河(七六)

(五) 氣候 溫度(七九) 雨量(八〇) 沱江(七七) 嘉陵江(七八) 烏江(七九)

(六) 富源 農產(八一) 鹽井(八三)

(七) 交通 四川之石油與煤礦(八四) 長江水力

(八五)

(九) 民生 防區之害(八七)

(一〇) 交通 川江航路(七八) 鐵道與汽車路(八八)

(八) 都市 成都(八九) 重慶(九一) 萬縣(九二) 奉節(九三) 涪陵(九四)

九三) 合川順慶與潼川(九三) 瀘縣與自流井(九三) 宜賓與瀘州

(九四) 雅安(九四) 瀘縣(九四) 綏寧(九五)

本章習題九則(九六) 附註十九則(九七)

第十四章 秦嶺漢水區……………九一二四

(一) 區域 中國地理上之主要界線(九九)

(二) 地形 秦嶺山名稱及範圍(一〇〇) 秦嶺山之分水脊(一〇一) 秦嶺北坡

(一〇二) 秦嶺南坡(一〇三) 秦嶺山脈中之名山(一〇四) 漢

中盆地(一〇五) 大巴山(一〇五) 武都山(一〇六)

(三) 水系 漢水之源(一〇七) 陝南之漢水(一〇八) 鄂北之漢水(一〇九)

漢水之滄海(一一〇)

(四) 氣候 秦嶺南坡北坡之比較(一一一)

(五) 富源 農產(一二一) 林產(一二一) 礦產(一二三) 水力(一二四)

(六) 民生 穀類(一二四)

(七) 交通 漢水航運(一二五) 鐵路(一二六) 襄花汽車路(一二九)

(八) 都市 (中) 湖北省 襄陽與樊城(一二〇) 老河口(一二二)

(乙) 河南省 南陽與淅川(一二三)

(丙) 陝西省 甯鄉(一二三) 安康(一二三)

(本報附刊七則)(一二二) 附註十六則(一二三)

第十五章 陝甘盆地……………一二五—一三九

(一) 區域 關中(一二五)

(二) 地形 渭河沖積平原(一二五) 陝北盆地(一二六) 梁山山脈(一二七)

橋山山脈(一二七) 黃土(一二七)

(三) 水系 渭河(一二七) 經河(一二八) 北格水(一二四七) 西惠渠灌溉工

本書總目次 (一五九)

(四) 氣候 陝北之旱 (一三〇)

(五) 富源 棉麥皮毛 (一三一) 煤與陶土等 (一三二) 石油 (一三二)

(六) 民生

(七) 交通 舟運 (一三四) 車運 (一三四) 公路 (一三五)

(八) 都市 (甲) 陝西省 西安 (一三六) 三原 (一三七) 榆林 (一三七)

(乙) 甘肅省 天水 (一三七) 平涼 (一三七)

本章習題六則 (一三八) 附註十三則 (一三七)

第十六章 黃河上流區 一四〇—一五五

(一) 區域 外流與內流之交界 (一四〇)

(二) 地形 黃河谷地 (一四一) 甘肅孔道 (一四二) 龍山山脈 (一四三)

(三) 水系 固山 (一四二) 祁連山 (一四二) 青海湖 (一四三)

本書地圖中 部目次

(三) 水系 黃河上源(一四四) 甘肅與甯夏境內之黃河(一四四) 黃河之水利

(一四四) 溫水(一四五) 洮河(一四五) 弱水河(一四五)

(四) 氣候 「刮死刮活」之語(一四五)

(五) 富源 農產(一四六) 林產(一四七) 畜產(一四七) 鹽產(一四八)

(六) 民生 同人(一四九) 青海東部之民族(一四九) 民生疾苦(一五〇)

(七) 交通 黃河之水運(一五〇) 以皋蘭爲中心之交通大道(一五一) 航空路

(一五一)

(八) 都市 (甲) 甘肅省 蘭州(一五二) 臨夏與卜鈺場(一五二) 關棧(一五二)

(五二)

(乙) 甯夏省 甯夏(一五三)

(丙) 青海省 西甯(一五三) 溫源(一五三)

(九) 邊防 蘭州之形勢(一五四) 甘涼之形勢(一五四)

本章習題六則(一五五) 附註十六則(一五五)

第十七章

山西高原

一五(一八〇)

北野

(四) 區域

分劃高原(一五八)

五台山與恆山(一五九)

霍山山脈(一五九)

四大盆地(一六〇)

汾河(一六一)

沁河(一六一)

黃河(一六一)

(一) 區域 分劃高原(一五八)

(二) 地形 太行山脈(一五八)

五台山與恆山(一五九)

霍山山脈(一五九)

(三) 呂梁山脈(一五九)

沁水高原(一六〇)

四大盆地(一六〇)

(四) 水系 晉陝界之上黃河(一六一)

汾河(一六一)

沁河(一六一)

(五) 水系 沁水(一六一)

沁水高原(一六〇)

四大盆地(一六〇)

汾河(一六一)

沁河(一六一)

(六) 氣候 陽曲之氣候(一六二)

植物分佈之大概(一六三)

山西之煤礦(一六四)

(七) 富源 鹽池(一六三)

山西之煤礦(一六四)

山西之鐵礦(一六五)

(八) 富源 鹽池(一六三)

山西之煤礦(一六四)

山西之鐵礦(一六五)

(九) 民生 山西鹽池之衰落(一六六)

山西之煤礦(一六四)

(一〇) 交通 正太鐵路(一六七)

滹沱河之水運(一六八)

(一一) 都市 陽曲(一六八)

汾陽(一六九)

太谷(一六九)

(八) 滎河(一六六) 大伾(一七三) 大伾(一六六) 大伾(一六六)

本章總覽(一七〇) (一六六) 滎河(一六六) 滎河(一六六)

第十八章 海河(一六六) 一七二一九二

(一) 區域 河北之大平原(一七二) 山西(一六六) 山西(一六六)

(二) 地形 太行山(一七三) 西山(一七三) 燕山(一七三)

(三) 水系 水系大勢(一七四) 海河水系 (一) 北運河(一七四) (二) 永

(三) 永定河(一七五) 大清河 滎河(一七五) (四) 滎河(一七五) 徒駭

(五) 滎河(一七六) 滎河(一七六) 滎河(一七六) 徒駭

(二) 滎河(一七六) 滎河(一七六) 滎河(一七六) 徒駭

(一) 滎河(一七六) 滎河(一七六) 滎河(一七六)

(四) 氣候 溫度(一七八) 雨量(一七八) 風沙(一七八)

(五) 富源 農產與織布(一七九) 林產(一八〇) 開採煤礦(一八〇) 井經

興臨城煤礦(一八八) 安陽與焦作煤田(一八一) 宜龍鐵礦(一八二)

一 啓新洋灰公司(一八一) 陶瓷(一八三) 長蘆鹽(一八二)

(六) 民生 衣(一八三) 食(一八三) 住(一八三)

(七) 交通 水道交通(一八四) 陸路交通(一八四) 四大鐵道(一八五) 石

岐朱成鐵路(一八五) 航空路(一八五)

(八) 都市 (甲) 北平天津旺轄市 北平(一八六) 天津(一八六)

(乙) 河北省 保定(一八七) 石家莊(一八七) 唐山(一八七)

秦皇島與北方大港(一八八) 山海關(一八八)

(丙) 河南省 鄭縣(一八九)

(丁) 山西省 臨清(一八九) 德縣(一八九)

榆關與之教訓(一八九) 長城各口之形勢(一九〇)

本書附題五則(一九一) 附註十四則(一九二)

本國地理 中冊

第十一章 高原

(一) 區域

貴州省號稱山國，實則爲一廣大高原，東界湖南，北界四川，南界廣西，地勢低窪，皆盆成地。惟湖北省西南部，恩施附近諸縣，在地形上實爲貴州高原之一部分。雲南省東部亦屬高原。與貴州高原毗連，茲合稱爲雲貴高原。昆明高度一千九百公尺。可代表雲南東部高原，貴陽高度一千一百公尺，可代表貴州中部高原。丁文江君有云：「貴州有個俗語說：『天無三日晴，地無三里平，人無三兩銀』。初聽得笑時候，便覺未免形容過分，等到在貴州旅行久了，纔知道這三句話都與事實相去不遠。爲什麼在貴州『地無三里平』呢？第一，牠是一個高原，但是比西面的雲南東部高原要低八九百公尺，從高的高原向比較低的高原走，路當然不能平。第二，貴州高原中間又有許多五百公尺到一千公尺深的峽谷。第三，所謂高原並不是平原，中間處處都有邱陵起伏，地形極其複雜。」（註一）

(二) 地形

貴州之峽

貴州全省地勢，西北高於東南。境內河流，大都起於西部，而流向東南或正東。自重慶至蜀黔二省界上之松坎，二百餘公里中，地勢平緩，至松坎附近，地勢陡變，羣山隆起，旋爲峭壁。川南常見之紅色砂岩，至此盡行隱匿，而緻密之石灰岩層起而代之。地質學家謂貴州南北，實因斷層脫落，致與蜀桂分裂以成高原。(註一)在石灰岩構成之高原，河水往往入地，谷道忽然中止；或河水忽從峭壁流出，在萬山中成一條大谷。山岳之著名者有婁山梵淨山雲霧山等。婁山橫亘於桐梓遵義之間，爲長江與烏江之分水嶺，其高峯曰金頂山，高度約一千六百公尺。梵淨山在銅仁縣西南，海拔二千公尺，或說江與烏江之分水嶺。雲霧山海拔二千一百公尺，在龍里縣東南，爲柳江與烏江之分水嶺，環山而居者多苗族，即所謂苗嶺是也。貴陽南寨(黔桂交界處)間之地形，大都平坦，山嶺雖多，遠不及西南兩部之崇峻，河流更無大者，故深谷巨峽，尚未及見。

雲南雖然是一個邱陵起伏的高原，中間還有許多壩子——西南人叫山間的平原爲壩子，如昆明壩子，曲靖壩子，中間滿是水田，二里一個村，三里一個場，好像沙漠中的水草間

雲南之壩子

烏江流域

沅江上流

，沒有幾分江南的風景。一到貴州境內，連這種塢子都沒有了。每天所看見的，不是光禿禿的石頭山，沒有水，沒有土，沒有樹，沒有人家，就是很深的峽谷，兩岸一上一下，都是幾百公尺到一千公尺。只有峽谷的支谷裏面，纔是石山的落水塘附近，偶然有幾處村落，所謂城市都在這種淺而寬的峽谷裏面，例如貴陽；或是比較大門落水塘，例如安順。」（同註一）

（三）水系

貴州省長江支流凡三，曰烏江合江沅江，其中以烏江流域爲最大，幾佔貴州全省三分之二。烏江亦名黔江，又名濬江，源出威寧縣，東流經貴陽之北，遵義之南，納清水江而水勢漸大，復北行經思南至興義，出貴州境，又西北至四川涪陵入長江。烏江長一千餘公里，然上流頗多伏流，中間又多險灘，思南以下方可通行舟楫，在思南以上，江面狹隘，水流湍急，兩岸削成絕壁。高約數百公尺，在此深谷行舟，恍若身入巫峽。合江在烏江之西，亦名赤水河，一部分爲川黔二省省界，舟楫自四川合川上溯至赤水，赤水位於黔省邊境，地位與興義灘同。

沅江在烏江之東，上分數源，一曰酉水，源自鄂西來鳳，東南流至沅陵；二曰辰水，即

麻陽江，出自貴州省溪，東流經銅仁麻陽至辰溪；三曰漁水即鎮陽江，出自貴州貴平，東流經鎮遠至江而南折；四曰沅水即清水河，源出貴州南部都勻縣境，入湖南境，至黔陽與漁水會。以上自一至四，愈南者其源愈遠，愈北者其源愈急，皆割割鄂西與黔東高原而出，峽峻溪深，交通甚艱。其中漁水自鎮遠以下，可通行民船，爲黔省最良河道，辰水次之。丁文江君有云：『從鎮遠到常德，可以就水之淺淺、灘的性質、和山谷的形勢，分做三段：第一是從鎮遠到黔陽的二百七十公里，這是漁水的本身；第二從黔陽到桃源的四百三十五公里，這是沅江；第三是桃源到常德的四十五公里，名雖仍爲沅江，實際上桃源以下已經到了洞庭湖的淤地。』又云：『在黔陽城西，沅水的正源從西南來會。漁水的顏色是紅黃的，沅水是清的，所以沅水又叫做清水江。兩條水會合的地方，清水與漁水合流，界限起初看得很明白，一直到城南。方纔完全混合。』（同註一）

湖北之西南部屬於清江流域，清江源出利川縣，經恩施長陽等縣，受納小河無數，至宜都興灣洋河合，入長江，長達三百餘公里，古稱夷水。又以水色清澈，可分沙石，亦名清江，俗名楚蜀有警，援以此爲出奇之道。（註三）鄂西爲山嶺叢雜之區，崇山峻嶺，絕坎深溝